

## 東御市発足 20 周年記念事業

### 「みんなで子育て、つながる地域」子育てフォーラム開催要領 開催要領

#### R6.2.1 子ども家庭支援課

##### 1 趣 旨

コロナ禍以降、子どもを取り巻く世界は大きく変化し、子ども育てる親にとっても育児環境は大きく変化している。とりわけ子どもが育つうえに必要な地域のコミュニティー活動やママ達のサークルの活動の停滞は、声を掛け合い、共に育ち合う機会の減少を招いており、あらためて地域コミュニティーの希薄化をつなぎ直していくことが喫緊の課題となっている。

東御市が発足し 20 周年の節目を迎えるこの機会を捉え、大人達がいま一度、地域の子育て環境を見つめ直し、地域全体で子育て・子育てを支えていく機運を高めていくため、子育て当事者のみならず地域住民同士が共に学び、つながり合う「みんなで子育て、つながる地域」フォーラムを開催する。

##### 2 主 催

東御市

(共催：(公財)身体教育医学研究所、母子健康推進ネットワーク懇話会、佐久大学、長野大学、東御市社会福祉協議会、市内放課後等児童デイサービス事業所、助産所とうみ)

##### 3 日 時

令和 6 年 6 月 15 日 (土) 午前 9:00～午後 3:00

##### 4 会 場

東御市子育て支援センター及び中央公民館

(基調講演については YouTube によるオンライン配信も同時開催)

##### 5 対 象

- ・市内の 0 歳から 18 歳までの子育て世帯、市内保育園幼稚園、小中学校の教職員、その他児童発達支援事業所、放課後等児童デイサービス事業所職員
- ・地域で子育て世帯を見守る住民

##### 6 内 容

###### (1) “学ぶ・体験する”

○親子で楽しむ体験型運動プログラム (キッズヨガ、子育て・子育て応援ストレッチ)

- ・(公財)身体教育医学研究所/谷 貴人ほか
- ・キッズヨガインストラクター/安里里子
- ・放課後等デイサービス事業所による活動体験

○子育てブラックジャックこと西軽井沢学園の理事長 奥田健次先生講演会  
演題「今の子育てに本当に必要なこと」～ぶれない親になろう～ (仮題)

###### (2) “交流する”

○ママブース

- ・NPO 法人子育てママ応援塾ほっこり～の/内海千津子
- ・佐久大学協力/日本足育プロジェクト協会/

### ○子育て応援ブース

- ・市内や近隣の福祉事業所のブース、助産所とうみ、出店・展示
- ・子育て見守りサポーター／長野大学協力

### (3) “ほしい・あげたい”

○子育て応援バザール（絵本・子供服リユース・おさがり交換会）

### (4) 子育てスタンプラリー

子育て支援に関する情報等を楽しく学べるスタンプラリーを実施し、フォーラムの3つのカテゴリーすべてに参加した場合は景品を提供

## 7 日 程

時間	“学ぶ・体験する”		“交流する”	“ほしい・あげたい”
9:30	親子運動 プログラム (乳幼児)		ママ・ブース ※「先駆的実践活動」 を知る 子育て応援ブース ※子育てサービスを知 る	子育て応援 バザール
10:00				
10:30	講演会 「現在の子育てに本 当に必要なこと」～ ぶれない親になろう ～ 講師 奥田健次 氏			
11:00				
12:00				
13:00	親子体験 プログラム (工作活動ほか)			子育て応援 バザール
15:00				

## 8 運営方法

子育て当事者と地域住民の協働の実行委員会による運営

## 9 申込み・問合せ先等

- ・申込み： LINE あるいは Google フォームなどを検討中
- ・問合せ先：東御市 子ども家庭支援課

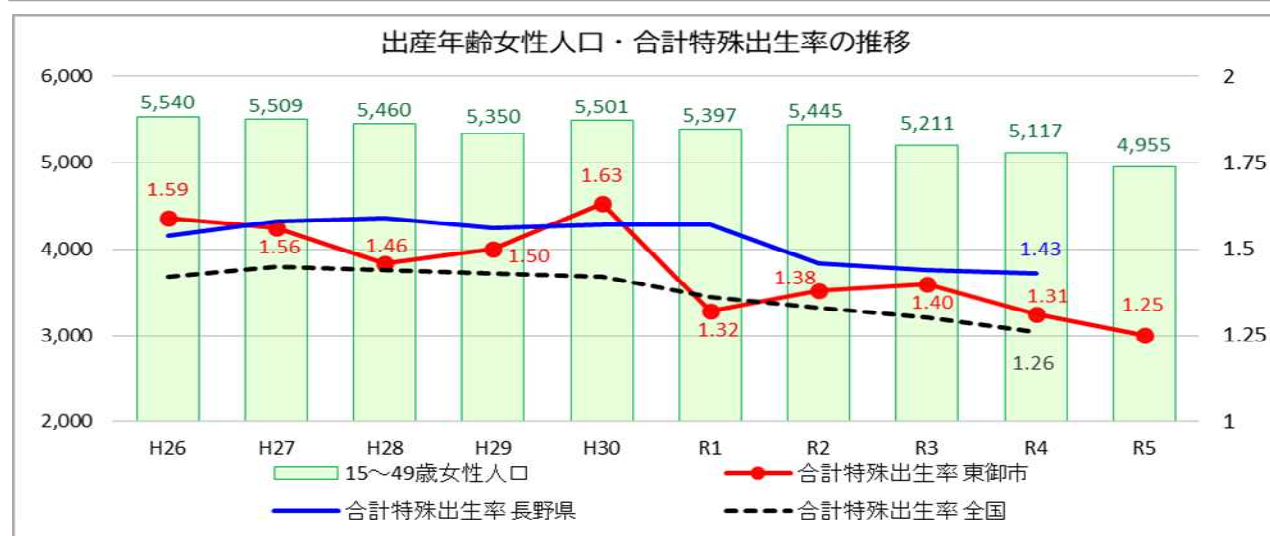
電話 0268-71-0450

E-Mail [kodomokatei@city.tomi.nagano.jp](mailto:kodomokatei@city.tomi.nagano.jp)

# 出生の動向と産後ケア事業の利用促進について

健康保健課

## I 出生の動向



## II 産後ケア事業の利用促進及び利用促進策（案）（令和6年度～予定）

事業目的	助産施設等への短期宿泊や通所により母体の心身のケア、保健指導、育児相談、授乳指導等のサービスを提供することで、母子の健康保持及び産後うつ防止を図る。				
利用状況	年度／区分	宿泊利用者	延利用数	通所利用者	延利用数
	R3	5人	23泊	77人	226回
	R4	12人	50泊	80人	212回
	R5(1月末現在)	8人	27泊	70人	153回
利用促進に向けた取り組み(案)	<p>(1)利用者要件の緩和…「産後に体調不良や育児不安がある等、支援が必要と認められる者」との要件を無くし、産後ケアを必要とする者は誰でも利用可とする。</p> <p>(2)経済的負担の軽減…利用料については、現行概ね8割を公費で負担し残り2割を自己負担としているが、初回～5回目までの利用に限り自己負担額の1/2を減免する。(5回目までは概ね公費9割、自己負担1割となる。)</p>				
助成額(案)	<p>自己負担額の1/2(ただし初回～5回目の利用まで)(助成率:国1/2、市1/2)</p> <p>【例】助産所とうみ利用の場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>短期宿泊 利用料25,000円…自己負担5,000円⇒2,500円(5回目まで)</li> <li>通所(1日) // 10,000円… // 2,000円⇒1,000円 //</li> <li>通所(半日) // 6,000円… // 1,200円⇒600円 //</li> </ul>				



近年、家庭の抱える課題が複雑・深刻化し、地域とのつながりも希薄になる中、子どもが安心して過ごせる居場所がなく、孤立するケースが少なくありません。

市では、様々な課題を抱えている子どもたちが安心して過ごせるよう、家庭と学校以外の居場所「子ども第三の居場所」を4月1日にオープンします。

## どんなことが出来るの？

支援を必要とする子どもたちが生活・学習習慣を身につけることに加え、他者とのコミュニケーションや好奇心を育む機会も大切にします。また、一人ひとりの子どもたちに対する支援だけでなく、保護者も含めて包括的に支援することによって、各家庭の環境や事情に寄り添いながら、子どもの成長を後押しします。

- 安心な居場所……なんでも相談できて楽しく過ごせる場。
- あたたかい食事…準備や片付けも一緒にしつつ楽しく食事をします。
- 学習サポート……宿題の見守りなどを通じて、学習習慣や意欲などを育みます。
- 体験活動……お友達と取り組む楽しい体験活動をたくさん企画しています。



## 子ども第三の居場所を見に来てください！

多くの方々に「子ども第三の居場所」のことを知っていただき、地域全体で支えていけるよう、下記日程で内覧会を行います。ぜひ、お越しください。

- ・日時 3月17日(日) 田中地区
  - ① 13時30分～14時30分
  - ② 15時00分～16時00分
 3月23日(土) 24日(日) 一般開放
  - ① 13時30分～14時30分
  - ② 15時00分～16時00分
- ・場所 子ども第三の居場所  
東御市県112-4 (田中小学校隣接、中間教室北側)
- ・内容 施設の概要、利用方法や受けられる支援の内容等説明させていただきます。
- ・その他 田中小学校、市役所の駐車場をご利用ください。  
(市役所からは徒歩10分程度です。)



▲完成予想図

## 愛称が決まりました

市内の小学生に投票して頂いた、総票数903票の結果から **ゆめほけっと・とうみ** に決定しました！投票のご協力ありがとうございました。



●問合せ先 子どもサポートセンター (子ども家庭支援課)  
☎ 71-0450

♡ 相談をもっと  
気軽に！  
「LINE相談」



報道関係各位

**「東御市子ども第三の居場所」****竣工式・調印式のご案内****2024年4月8日（月）14:30～開催**

令和5年7月から建設工事を進めてまいりました、東御市子ども第三の居場所完成しましたので竣工式・調印式を開催いたします。

また、市内の小学生約900人の投票により施設の愛称が決まりましたので、お披露目させていただきます。

報道機関の皆様におかれましては、ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、地域の子育て支援の話題として、ご取材賜りますよう、よろしくお願いいたします。

**【子ども第三の居場所 竣工式・調印式】**

時間：2024年4月8日（月）14：30～15：30（終了予定）

場所：東御市子ども第三の居場所

〒389-0592 東御市県112-4

次第：1 竣工式（14：30～15：00）

- ・主催者あいさつ
- ・来賓紹介、祝電披露
- ・工事概要説明
- ・テープカット ※ 居場所玄関前にて  
(市長・B&G理事長、市議会議長、田中地区区長会長、社会福祉協議会長)

《ご来賓・報道関係者施設見学》（15：00～15：15）

2 調印式（15：15～15：30）

- ・B&G財団あいさつ
- ・協定書調印
- ・写真撮影
- ・報道関係、質疑応答

※隣接している田中小学校の駐車場をお使いできますが、駐車可能な台数が限られていますので、できる限り東御市役所の駐車場をご利用下さい。（徒歩10分程度）

**【建設工事の概要】**

- (1) 構造：木造2階建て
- (2) 延床面積：189.63㎡
- (3) 工期：令和5年7月14日～令和6年3月31日
- (4) 総事業費：62,953千円
- (5) 設計・管理：滝設計 建築アトリエ
- (6) 工事施工者：竹花工業 株式会社

「子ども第三の居場所」は、様々な状況にある子ども達の支援の場として、B&G財団様と日本財団様が連携したプロジェクトです。東御市では、B&G財団様から開設費および今後3年間の拠点運営費として最大9,320万円を上限にご支援いただき、設置するものです。